

# 一般質問

9月定例会では下記11名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにたずねるもので、下の表のとおり質問を行いました。詳しくは12月上旬に発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

伊東正博	〇〇財政の課題と自治体経営	新小袋谷新道について再び
三輪裕美子	〇〇ごみ問題について	〇〇%削減という厳しい方針が
森川千鶴	〇〇高齢者福祉の課題	〇〇児童福祉計画策定について
岡田和則	〇〇子育て支援について	〇〇高齢者福祉について
藤田紀子	〇〇ごみ問題について	〇〇行財政改革について
伊藤玲子	〇〇行財政改革の推進について	〇〇教育行政の諸問題について
岡田和則	〇〇ごみ行政について	〇〇大船駅西口周辺整備について
千鶴	〇〇長生寺から踏切までの3ヶ所の横断歩道のある道路について	〇〇重度障害児の学童保育について
	〇〇再度障害児の学童保育について	〇〇知的障害者及び身体障害者の来年からヘルパー制度の変更について
	〇〇高齢者、障害者、乳幼児など災害弱者の対応について	〇〇(特に知的障害者、一人暮らしの障害のある高齢者及び障害者)
	〇〇市長へお願い(車いすでの鎌倉散策)	

## ごみ行政を問う

### 森川千鶴 議員

質問：今年十一月からあるごみを名越の焼却増量と域外処理で他市と民間業者に出すというごみだが、なぜこのように分けるのか。

部長：民間に出すのは鎌倉市の自努力の環である。

質問：民間というのは産廃として処理することであり、処理費用が非常に高い。不法投棄や環境汚染も懸念される。業者選定は進んでいるのか。

部長：受け入れられる業者をお願ひ。

質問：他市に出すのも、搬送や灰処理の問題もあり、燃やしたために税金を使うのは無駄だ。一刻も早い減量、資源化のための施策が必要である。来年以降も産廃に出すのか。

部長：そまも産廃に出すのか。

質問：今泉の焼却炉再開と二十三から十億円かかるという中

## 子育て支援充実を

### 小田嶋敏浩 議員

質問：子どもは、留守家庭児童の健全育成を図る目的で事業開始以来、無料で事業を実施してきたが、有料化する理由は何か。

部長：業務あるは、受託者の見直しを行った結果、受益者負担の原則に立ち一部負担を求めようとするものである。

質問：子どもは、留守家庭児童の健全育成を図る目的で事業開始以来、無料で事業を実施してきたが、有料化する理由は何か。

部長：業務あるは、受託者の見直しを行った結果、受益者負担の原則に立ち一部負担を求めようとするものである。

## 行革と教育問題を

### 伊藤玲子 議員

質問：鎌倉市の行革が一向に進まない理由は、職任せの前市長の姿勢と職員意識だった。市長：私は意識して改革を進めたい。職員の意識も高まる。

質問：市民の行財政会議からの通信簿に、あれこれの懸念点が指摘されている。また、後は行動の問題です。是非行革を一致と言われている。

市長：今までに指摘されたことは、重く真しに受け止めて、一つ一つ着実に実行していく。

質問：行革の責任者として、厳しい財政の中で、どう事業の優先順位をつけていくのか。

市長：福祉などはコスト面だけで判断できない。市民ニーズなど総合的に勘案していく。

質問：今までは職員の人件費とを優先してきたが、事業費とどちらを優先していくのか。

市長：両方重要と認識している。税金の約半分という非常

## 財政の危機的状況

### 伊東正博 議員

質問：平成十五年度予算は、大変厳しい歳入見通しの中でどのように編成する方針か。

部長：歳入の推計は、市税収入の落ち込み、財政調整基金の変換し、歳入見通しの中でどのように編成する方針か。

部長：歳入の推計は、市税収入の落ち込み、財政調整基金の変換し、歳入見通しの中でどのように編成する方針か。

## 市民のつくる福祉

### 三輪裕美子 議員

質問：高齢者福祉の課題。介護保険制度の見直しで保険料の値上げが見込まれているが、この負担見合ふた特養、老健等の基盤整備を進んでいくのか。

部長：他市よりも基盤整備が低く、今年度末オープン予定の特養を見込んで七〇%と。待機者は約四百七十人となっている。

質問：生活支援として保険料の多様なサービスが必要。高齢者の相談窓口となる在宅介護支援センターは市内に十カ所あるが、各センターの相談件数に偏りがある。セーターの機能を十分に果たしていないか。

部長：センターの必要性は今後増すと考えている。来年度に地域福祉計画策定の中で、高齢者から障害者、幼児までの総合相談窓口として位置付けていくべきと考える。

質問：地域福祉計画策定に向けた市の考えを聞きたい。

部長：地域福祉協議会開催するべく、今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。

## 大船西口整備・他

### 岡田和則 議員

質問：大船駅西口整備を平成十六年から十年かけて都市計画決定すると市長は発言していた。ところが、大和橋の上流に新しい橋を架る基礎工事は河川改修と同時に進行することが困難になったと鎌倉市は七月二十五日に表明。八月二十一日にドリムラン(下)のモノレールの再開断念が表明された。この二つの理由から市長発言と都市計画決定できるか。

部長：平成十六年から十七年度に都市計画決定の手續を進めることはできなくなった。

質問：現計画の見直しやあち方

部長：人車分離、バスタップの集積、交通渋滞の解消は、

## ごみ問題について

### 澁谷廣美 議員

質問：鎌倉市はごみ半減計画の見直しを行ったが、三浦半島地域四市一町で進められているごみ広域処理施設稼働時期については、平成十七年度の稼働と各市長が確認している。この稼働に向けて、鎌倉市はどのような考えをもって対応してきたか。

部長：ごみ半減計画の見直しは、平成十四年度の税収見込額と比べて、二から三億円の減収になるのではないかと。固定資産税が二、三億円の減収ということは、都市計画税も一億円以上の減収となる。鎌倉市は都市計画税の税率を元に戻す考えはないか。

部長：人件費を初めとする経常的経費の削減に努めることも、都市計画税の税率の見直しについても、一つの大きな課題として議論すべき時期に入ったと認識している。

## ごみと行革で提案

### 児島 晃 議員

質問：ごみ削減と行革の両方について、ごみ削減は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。

質問：ごみ削減と行革の両方について、ごみ削減は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。今泉再開は巨内処理を確立するための緊急対策。



完成が待たれる坂ノ下の特別養護老人ホーム

## 行財政改革を!

### 藤田紀子 議員

質問：行政評価システムが平成十五年度予算編成にどう生かされるのか。

部長：それだけの課の判断である程度予算に反映していくが、将来的には事業ごとの優先度が検討できる評価システムにしていきたい。

質問：事業化前に、客観的、事務的に市民の目線で事業の評価を行うことのできる事前評価システムを検討を要する。

部長：部・課制を廃止し課題に対する小規模な組織の単位にするフラット化については、

## 体験を基に福祉を

### 千一 議員

質問：前回の一般質問でも取り上げた横浜鎌倉線の建長寺から踏切まで、小袋谷新道のバリアフリー化について、その後経過を聞きたい。

部長：横浜鎌倉線については、歩道の下にガレージが埋まっているのがわかり、着手時期が遅れているが、工事については順次できるところから実施していくと聞いている。また、小袋谷新道については、今後も県に要望していきたい。

質問：一回にわたる質問した学童保育における職員不足を介助制度について、重慶児童を配置するなどの対応をすべきではないか。

部長：子どもは、留守家庭児童の健全育成を図る目的で事業開始以来、無料で事業を実施してきたが、有料化する理由は何か。

## 福祉充実の市政を

### 吉岡和江 議員

質問：公私立保育所等に子どもたちの現状を伺った。子育ての社会的支援の必要性は専門家の共通認識である。児童福祉協議会も、ごみ局の組織的強化を求めているがどうか。

市長：社会的支援が求められており、ごみ局に対する期待は大きいと認識している。来年の機構改革に間に合うよう検討していく。

質問：保育所待機児童対策を早急に取るべきだ。冷房がない部屋に定員以上入居させている。冷房設置は早急にすべきだ。どうか。

部長：入所定員の弾力化や認可外保育所の認可化を総合的に取り組んでいく。

市長：冷房設置は前向きに検討していく。

質問：保育所は地域の子育て支援の中核の役割が求められている。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。

市長：住民福祉の増進を目指し、最少の費用で最大の効果を出せるように努める。

質問：鎌倉市の財政逼迫の主な原因は、国が大企業と大金持ちには減税、このための大幅減収と補助金カットにある。しかし、国は補助金をどう削減しようとしている。どう思うか。

市長：国と地方の財源配分は、底した行財政改革が必要である。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。

市長：冷房設置は前向きに検討していく。

質問：保育所待機児童対策を早急に取るべきだ。冷房がない部屋に定員以上入居させている。冷房設置は早急にすべきだ。どうか。

部長：入所定員の弾力化や認可外保育所の認可化を総合的に取り組んでいく。

市長：冷房設置は前向きに検討していく。

質問：保育所は地域の子育て支援の中核の役割が求められている。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。

市長：住民福祉の増進を目指し、最少の費用で最大の効果を出せるように努める。

質問：鎌倉市の財政逼迫の主な原因は、国が大企業と大金持ちには減税、このための大幅減収と補助金カットにある。しかし、国は補助金をどう削減しようとしている。どう思うか。

市長：国と地方の財源配分は、底した行財政改革が必要である。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。

## 体験を基に福祉を

### 千一 議員

質問：前回の一般質問でも取り上げた横浜鎌倉線の建長寺から踏切まで、小袋谷新道のバリアフリー化について、その後経過を聞きたい。

部長：横浜鎌倉線については、歩道の下にガレージが埋まっているのがわかり、着手時期が遅れているが、工事については順次できるところから実施していくと聞いている。また、小袋谷新道については、今後も県に要望していきたい。

質問：一回にわたる質問した学童保育における職員不足を介助制度について、重慶児童を配置するなどの対応をすべきではないか。

部長：子どもは、留守家庭児童の健全育成を図る目的で事業開始以来、無料で事業を実施してきたが、有料化する理由は何か。

## 福祉充実の市政を

### 吉岡和江 議員

質問：公私立保育所等に子どもたちの現状を伺った。子育ての社会的支援の必要性は専門家の共通認識である。児童福祉協議会も、ごみ局の組織的強化を求めているがどうか。

市長：社会的支援が求められており、ごみ局に対する期待は大きいと認識している。来年の機構改革に間に合うよう検討していく。

質問：保育所待機児童対策を早急に取るべきだ。冷房がない部屋に定員以上入居させている。冷房設置は早急にすべきだ。どうか。

部長：入所定員の弾力化や認可外保育所の認可化を総合的に取り組んでいく。

市長：冷房設置は前向きに検討していく。

質問：保育所は地域の子育て支援の中核の役割が求められている。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。

市長：住民福祉の増進を目指し、最少の費用で最大の効果を出せるように努める。

質問：鎌倉市の財政逼迫の主な原因は、国が大企業と大金持ちには減税、このための大幅減収と補助金カットにある。しかし、国は補助金をどう削減しようとしている。どう思うか。

市長：国と地方の財源配分は、底した行財政改革が必要である。自治体の本務は、福祉、暮らしの充実を図ることである。今までの行革は、福祉暮らしを犠牲にしてきたが、行革の基本姿勢は、市民生活の向上を最大の効果とする。どうか。